

国立国会図書館 調査及び立法考査局

Research and Legislative Reference Bureau
National Diet Library

URL	http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_9913622_po_20150300.pdf?contentNo=1
DOI	10.11501/9913622
論題 Title	はしがき
他言語論題 Title in other language	Preface
著者 / 所属 Author(s)	石川 武敏 (Ishikawa, Taketoshi) / 国立国会図書館調査及び立法考査局長
書名 Title of Book	ライフサイエンスをめぐる諸課題—科学技術に関する調査プロジェクト調査報告書— (Aspects in Life Sciences: Science and Technology Research Project)
シリーズ Series	調査資料 2015-3
出版者 Publisher	国立国会図書館調査及び立法考査局
刊行日 Issue Date	2016-03-17
ページ Page	
ISBN	978-4-87582-785-6
本文の言語 Language	日本語 (Japanese)
摘要 Abstract	

*掲載論文等のうち、意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りしておきます。

はしがき

この報告書は、国立国会図書館調査及び立法考査局が行った平成27年度科学技術に関する調査プロジェクトの成果であり、『ライフサイエンスをめぐる諸課題』及び『ライフサイエンスのフロンティア—研究開発の動向と生命倫理—』の二冊で構成されています。

国立国会図書館の科学技術に関する調査プロジェクトは、科学技術に関わる国政課題の国会審議及び議員各位の研究に資することを目的に、毎年度、特定のテーマの下に外部の研究者等と連携して調査を行い、その結果を報告書として国会及び議員各位に御提供するものです。「国立国会図書館法」(昭和23年法律第5号)は、調査及び立法考査局の任務として、両議院、委員会及び議員に対して、その要求を予測して役立ち得る資料を提供することを掲げており、このプロジェクトもその任務の遂行の一環として行っております。

平成27年度は「ライフサイエンス」をテーマに調査を実施いたしました。今回のプロジェクトの趣旨・目的は、この報告書の「はじめに」において詳述しましたが、「ライフサイエンス」は生命の根源に関わると同時に、国民生活とも密接な関係があり社会的関心が極めて高い科学技術分野といえます。

21世紀は「生命科学の世紀」といわれておりますが、ライフサイエンス(生命科学)は、人間を含むあらゆる生物の生命現象を解明するために、従来の学問の枠を超えて総合的かつ多角的に研究が進んでいる分野です。平成15(2003)年4月には「ヒトゲノム解読完了」という人類にとり大きなニュースが世界に発信されました。その後、ゲノムレベルで生命現象の機序の解明が飛躍的に進み、医療の分野でも従来治療が困難であった疾患に対する新しい治療法が次々と誕生するなど目覚ましい変化が起きています。科学としての医学が本格的に始まったといわれるほどです。このように「ライフサイエンス」分野の研究開発にパラダイムシフトともいべき急激な変化の波が押し寄せています。そのため、一面においては従来の枠組みでは対処できない倫理的・法的・社会的な課題が生じています。政策的な対応を図ることも急務です。

本報告書では、こうした認識の下、『ライフサイエンスをめぐる諸課題』においてライフサイエンス分野の現状と課題を、生命倫理、バイオセキュリティ、医療政策、研究医育成などの幅広い視点から俯瞰的に整理し、取りまとめました。また、『ライフサイエンスのフロンティア—研究開発の動向と生命倫理—』では、人間への応用に関わる課題に焦点を絞り、日本及び諸外国における研究開発体制と動向のほか、政策、医薬品・医療機器産業、がん研究、脳科学、再生医療・幹細胞研究、ゲノム医療までを取り上げております。

本報告書がライフサイエンス政策に関する国政審議、議員各位の研究のお役に立つことを、またこの問題に関心を寄せられる方々に広く活用されることを心から願うものです。

平成28年3月

国立国会図書館 調査及び立法考査局長 石川 武敏